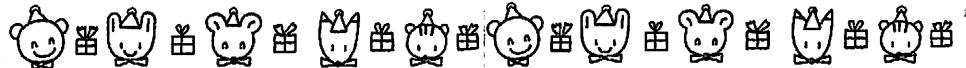


# 12月のこどり

H.15. 12月1日 太陽の子保育園

美しかった木々の葉も、いつしか散り、行きかう人々の足ヒリも、年の瀬のあわただしさを感じる12月になりました。

子どもたちは、風邪ひきの子、お熱、お咳等で、今ひとつ、体調が良くない子が多くなっています。又、水っぽそうのお子さんも数名でいます。朝の忙しい時間の中ですか、「顔色は?」「機嫌は?」「お熱は?」などと、お子さんの体に触れ、会話をしながら、朝の健康チェック!をしてみて下さい。イコール、スキニシップ。にもよって、一石二鳥ですね。



- 3日(木) あらしき
- 9日(火) 避難訓練
- 11日(木) おたん生会
- 17日(木) フルキ-作り  
(3.4.5年児)
- 0 手児健診
- 身体測定の週

- ・サンタ音楽祭
- 20日(土) 9:30~11:30  
コミュニティセンター  
3Fホール
- 25日(木) 老人ホーム  
ブリニ東京の方々と  
クリスマス会  
(らいふん組)



ほめて育てよう「未来の宝」

子どもたち一人は生きよう成長はう、雨ニラヒ全力で前へと生きています。昨日出来はせつ車を今日はできる様になろと挑戦をします。でき自分から喜んでいます。この様に前へむかへ、雨ニラヒしている本末のうどしひじを自覚するはぢは、雨川の方で一番大切+はニヒは来て「責めない」「否定しない」という事であります。なぜならば「雨ニラヒ」としているじぐく責める雨川をすれば、雨きたいのに、それひと並に「雨じぐるを得なくなる」からです。雨じぐるは、重くなり、碑くなり、固まつて、雨をにくくなる。変わりにくくなる。責める側は、変わらない、相手を見てさらに責める。責められ方は、ざらにじつは雨じく碑くなり、変わりにくくあります。これらると、雨川は、雨川は、悪循環とすて、関係が分断してしまいます。では、どの様に雨川はいいのでしょうか。それは、「ほめる」とです。まず、「8割」は、じつりと話を聞くことである。それは、「ほめる所を握りたまに雨川である。そしてあと2割で、「ほめる」であると、教育カウンセラー町田先生の言いかぎりです。

毎日の忙しい中で、子どもたちのじかにわかる三ヶナルを早くキャッチし、対応します。じかにふくやまじく)雨川ことからはじめてみませんか?



## サンタ音楽祭

今年も、小沢先生の演奏をお聞えしましたから、ほんで、くま、らいふん組の子どもたちが一緒に2つのグループに別れ、出し物を準備中です。お楽しみ!

当日は、コミュニケーションセンターの席、座席数で御迷惑をおかけ致しませんが、詳しい内容等は、後日おしらせいたしますので、よろしくお願ひ致します。

## おもちつき

今年より、園内行事とさせて頂きました。  
前日より、くま、らいふんぐみで、もち米  
とまから、始まり、当日は、自分たちで打ち  
丸めて、食べます。お家からは、空の  
・お弁当箱、・エプロン、三角巾(ママ)  
を用意して下さい。

